

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を踏まえ、学部・学科の教育研究上の目的や育成する人間像が明確に設定されている。[0101a]
0102	学部・学科の教育上の目的は、刊行物やホームページ等の手段で構成員に周知され、また社会に対して公表されているが、若干の齟齬が認められ、その解消に取り組んでいる。[0101b][0101c]
0102	「2. 自己点検・評価」の(2)の「サイトト」は「サイトと」の誤記である。
0101, 0102	ホームページにある根拠資料の示し方がマニュアルと一致していないものがある。
長所・特色	
0101	3 学科は相互関係を保ちながら、大学の基本理念に関連した育成する人間像が明確に示されている。[0102a][0102b]
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0102	教育研究上の目的や育成する人間像の記述に認められる、媒体間の齟齬の改善が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第3部会）

2020年度（対象年度：2019年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203 2017年度の自己点検・評価では、ピアレビューを受審している。その後、全学的課題として「学部・研究科等における内部質保証体制の充実」が挙げられたことを受けて、学部内で内部質保証システムを有効なものとするため、年間スケジュールを設定し、現在ではそれに基づいて、実践する体制が整えられている。[0203e]	
長所・特色	
0203 内部質保証システムを有効なものとするために、年間スケジュールを定め、システムティックに運営できる体制を整えている。[0203e]	
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (1)
------	---------------

総評	
0401	0402 学位授与の方針 (DP)・教育課程の編成・実施方針 (CP)の設定は、学科・専攻会議および主任会での検討の後、学部教授会で審議され、さらに、大学協議会で学部間整合性を検討した後、大学ホームページで適切に公開されている。[0401a]
0403	2019 年度の課題であった「シラバスと講義内容の整合性の検証」に関する取り組みとして「学生による授業評価アンケート」を活かした授業内容の見直しが行われ[0403d]、教育課程の編成・実施方針 (CP)に基づき授業科目が体系的に整備されている。
長所・特色	
0401	0402 DP・CP を学部教授会での審議を経るなどして階層的に検討することにより、学部全体としての意見が反映され、学部内での共通理解が促進されている。
0403	「学生による授業評価アンケート」の結果をもとにしたヒアリングを学部内で行い、学生の視点を加えた授業の改善が組織的になされている。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
<p>0404 学部に設置された学部教務委員会が定期的開催され、効果的な教育を行うための措置が講じられている。[0404c] 具体的には、「中部大学におけるシラバスの第三者点検実施要綱」に基づくシラバスの第三者点検を実施するなど、効果的な学修実現に向けた措置が組織的に執られている。[0404d] [0404e]</p> <p>0405 「成績評価及び単位認定方法の客観性・公平性・厳格性の担保の検討」という課題を検討する中で、「同一学科、同一科目で複数の教員が担当している科目において、教員によって評価基準が異なる可能性が懸念された」という懸念事項を学部として確認し、この懸念事項に対して組織的な方法による対処がなされた結果、成績評価等は適切に行われている。[0405d]</p>	
長所・特色	
<p>0404 学部教務委員会によって、教務事項を検討する場が学部に設けられている。[0404c]</p> <p>0404 「中部大学におけるシラバスの第三者点検実施要綱」に基づくシラバス点検により、CP が各授業の構成等に反映される継続的な仕組みが形成されている。[0404d]</p>	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	<p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評	
0406	DP を明示し、GPA の活用に加え、ルーブリックの導入を検討するなど学習成果の把握のための工夫が各教員でなされているが、学部として情報の共有という側面ではさらなる改善の余地がある。しかし、学習成果の把握・評価については概ね適切に実施されている。
0407	DP・CP に基づいた教育の方法等の改善・向上を実現するための組織的な自己点検・評価という面では、改善の余地がある。
長所・特色	
0406	ルーブリックの導入が試みられている。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0406	成績分布等に関する学生情報の共有促進が望まれる。【B】
0407	年度重点目標の一つとして自己点検・評価結果の積極的な活用が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
0501 0502	学部内で入試委員会が組織され、入試の実施体制が適切に整備されている。ホームページや民間の受験サイト情報との整合性まで確認するなど、入学者受入方針 (AP) は適切に公開されている。[0501c][0501d] また、募集人員に加えて志願者数・倍率等を公表するなどして、受験の客観性・公正性が担保されている。[0501c][0502b]
0503	入学者数や収容定員は適切に設定され、在籍学生数も適切に管理されている。[0503a][0503b] なお、応用生物学部より提出された「自己点検・評価シート」の「2 自己点検・評価」にある「2019 年度の博士課程 (1 専攻) における収容定員に対する在籍学生数比率は、前期課程で 106%、後期課程で 56%であり、前期課程は問題がないが、後期課程では苦戦している (0503b)」という記述は、本学部に関係しない記述であり、ヒアリング時の学部からの申し出に従い削除する。
0504	学生募集および入学者選抜は入学センターと連携して適切に行われている。
長所・特色	
0501 0502	ホームページや民間の受験サイトの情報との間に齟齬が見られないかという点まで確認し、入試情報管理が厳格に行われている。 [0501d]
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

総評
<p>0602 教員組織の編成については、教育研究活動を実施するために十分な専任教員が配置されており、必修科目もほぼ専任教員が担当するなど適正な配置が行われている。年齢構成バランスも取れており、女性教員の比率も高い。全学共通教育（教養教育）の運営にも主体的に関わっている。[0602a][0602b][0602c][0602d][0602e][0602f]</p> <p>0603 教員の募集・採用・昇格については、大学で定められた手続きに従って適切に進められている。なお、昇格に関しては、学部で規程を定め、大学に発議している。今後、募集・採用に関する学部内での規程・手続きを検討する。[0603a]</p> <p>0604 全学の FD 委員会のもとに学部 FD 委員会が設置されており、組織的に FD 活動が行われている。FD 活動の点検・評価に関しても、学部内 FD 活動 WG において実施されている。その報告書は学部 FD 委員会を経て、全学の FD 委員会に提出されている。[0604a]</p> <p>0605 教員組織の適切性については、根拠資料に基づく定期的な自己点検・評価は実施されておらず、今後、体制を確立し、適切性を評価できる資料の整備に努めることを検討している。</p>
長所・特色
<p>0602 十分な専任教員が確保され、全学共通教育（教養教育）にも主体的に関わっている。[0602a][0602b][0602g]</p> <p>0603 昇格に関しては、規程に基づいた手続きで実施されている。[0603a]</p> <p>0604 組織的に FD 活動が実施されており、機能的に運用されている。[0604a]</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: center;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0603 募集・採用に関わる学部内での規程・手続きの検討・整備が望まれる。【B】</p> <p>0604 0605 教員組織の適切性についての定期的な自己点検・評価の実施体制の確立が望まれる。【B】</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

総評
0702 多様な学生への対応、キャリア支援や生活基盤整備などの学生支援について、大学全体の方針に基づき、学部独自の視点も活かしながら支援体制を整備し、適切な学生支援活動を展開している。[0702a]
長所・特色
0702 多様な学生への支援においては学部独自の支援体制を組んでいる。就職活動支援に関しては業界との研究会の開催や、学部独自の説明会、研修会を行っており、業界および学生の双方に対する活動を実施している。[0702a][0702c][0702d]
留意点 *各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802 0806 教育研究等環境整備については、学部等重点計画策定に関連する委員会と協議し、中期予算計画により年次ごとに整備計画を立案して整備している。教育研究等環境の適切性についても定期的に自己点検・評価を行っており、改善・向上に向けた取り組みを行っている。[0802a][0806a][0806b][0806c][0802b]	
長所・特色	
0802 0806 教育研究等環境の有効活用を推進するために、主任会の常置委員会として学部スペース検討 WG を設けて調査、立案し、整備計画に反映している。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評	
0902 教員と学生とが地域社会と連携して様々な社会貢献を継続して行っている。また、教育研究成果の社会への還元については、有害生物の研究を日本ペストコントロール協会と協定を結び進めており、2017 年度の「第 1 回ペストコントロールカレッジ」開催から第 2 回、第 3 回と回を重ねている。[0902e][0902f-h]	
0902 教員、春日井商工会議所職員、市内事業者らが参加する地域活性化活動「春日井サボテンプロジェクト」など、地域社会との連携、社会貢献が非常に充実している。[0902i]	
長所・特色	
0902 地域社会との連携・社会貢献活動では、「森の健康診断」が継続されており、2019 年度から開催されている「新・森の健康診断」がある。これらは文部科学省 COC 事業の一環であり、学内の外部評価委員会で、地域活性化と学生教育の両面について高く評価されている。[0902a][0902b]	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学部
--------	--------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評
1120 教授会は規程に基づき議長の承認を得て開催通知し、議事録は事務局で作成し議長の決裁を経て本部へ提出している。議事はあらかじめ同規程に位置づけられた主任会において、申し合わせに基づき事前協議を行っている。常置専門委員会を設け、固有事項の処理および主任会より付託された事項を審議し、主要な内容は主任会へ報告・承認を得ている。[1120a][1120b][1120c][1120d]
長所・特色
1120 前回のピアレビューにより、常置専門委員会の運営規程の整備を指摘され、今回は整備を行った。また、学部スペース配分の透明性確保のため、主任会に学部スペース検討WGを新しく設けた。[1120b]
留意点
*各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管